



(木下琥博さん)



(三好雅也さん)



(惣田直太郎さん)



(金丸壮太郎さん)



(赤松初音さん)

議会だより
なおしま

2024 No.207
令和6年4月10日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)

第1分団屯所更新(新年度予算)..... 2~5P

香川県への要望は(町長報告)..... 6P

公共交通のキャッシュレス化等
(5氏が一般質問).... 8~10P

体験住宅の必要性を実感
(県外研修記)..... 13P

少年よ 大志を抱いて
(U・Iターン者に聞く)..... 14P

分団屯所更新

住宅施策など
考えていく



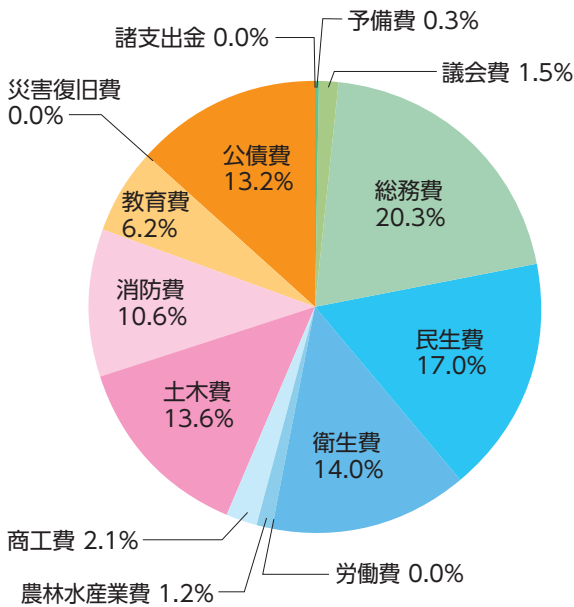
大綱を読み上げる小林町長

（3月定例会）

〔令和6年度一般会計予算 34億1718万円〕

3月定例会を7日から開催。令和6年度予算など議案30件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。
一般質問には5氏が登壇し、町政を問いました。
予算大綱・各予算案に対し活発な質疑を行ない、13日に閉会しました。

一般会計歳出（支出）構成表



令和6年度予算総括表

会計	予算規模 (万円)	対前年度比 (%)
一般会計	34億1718	3.0
特別会計	国民健康保険事業	3億8875 ▲14.0
	介護保険事業	4億 205 ▲0.1
	診療所事業	2億7491 ▲14.0
	後期高齢者医療事業	7665 12.6
	宅地造成事業	2371 ▲78.2
	小計	11億6607 ▲28.2
簡易水道事業会計	6億9677	21.2
下水道事業会計	2億9178	皆増
合計	55億7180	1.0

※簡易水道会計及び下水道会計の予算規模は、収益的支出－減価償却費＋資本的支出とする。



つっじ荘浮島購入

商工費



町営バス運行

総務費



鷺ノ松1号線舗装

土木費



出産・子育て支援

衛生費

こんな事業に
使います

消防団第1

予算大綱

主な質疑

なぜ人口が増えない

Q (浜口) 直島は自然環境・教育環境・子育て支援保育環境が良い。医療も365日24時間医師2人体制で充実している。移住を希望する人は多いのに人口が増えないのはなぜか。

A (町長) 空き家が多くなかなか現状だ。住宅施策など考えていく。例えばリースで建てる。その場合は初期投資が非常に少なくても、どのような方法が一番良いか探しているところだ。

Q (宮原) スクラップブアンドビルドのうち、スクラップしたものはあったか。また、大幅に事業経費を削減したものは。

A (町長) 今、町の事務事業として不要なものはないと思う。

活発に質問

新しい事業をどうしていくか、経費を削減していくかなどを考える時期ではないか。

女文楽の存続は

Q (山下) 女文楽は高齢化が著しく、座員も減少している。このままでは途絶えないか心配だ。

A (教育長) 大変難かしい問題だ。どのようにすれば維持できるのか。新しい方が入っても転出され、座員が増えない状況だ。全国の、類似した悩みを抱える市町の成功事例を探し、それを参考に考えていく。

Q (松島) 丸亀市が新年度から離島の高校生の通学助成を全額支給するらしい。町でもさらにがんばれないか。

A (教育次長) 丸亀市離島振興室へ問い合わせをしたところ、現在高校生の通学定期は5割補助だが、6年度からは全額を補助すること。人数は6人。

Q (西岡) 各所改良の内容は。

A (教育次長) プールサイドの塗装改修と、小・中学校の雨漏りの修繕、壁の補修などだ。

Q (中根) デジタルサイネージ事業の今後の発展は。

今後の事業展開は

「次ページへ続く」

離島の通学助成は

土木費



海の駅大規模改修

消防費



第1分団屯所更新 (建設予定地)

土木費



南寺ポケットパーク改修

教育費



小学校プールサイド塗装

A (まち観課長) 宇野港・高松港・宮浦港・つつじ荘で交通案内や観光客のマナーアツプなどを啓発。今後、美術館情報をリアルタイムに配信する仕組みを構築し、設置していく予定だ。

観光客のスムーズな移動、有益な情報のリアルタイムな配信を進めていきたい。



デジタルサイネージで情報配信

予算増加の理由は

Q (宮原) 火まつりの予算が昨年度より増加しているのはなぜか。

A (町長) 6年度が町制70周年記念なので、花火は多めに上げることは決定している。

台船が用意できるのか、1隻の台船に何発積めるのかなど、今後検討していく。

つり公園の今後は

Q (中根) 今後、つり公園はどうなっていくのか。

A (建設経済課長) 今後の方針・方策などの基礎調査を現在行なっている。その報告に基づいて、6年度中に施設を整備していくかを内部検討する。

70周年式典は

Q (西岡) 町制70周年の内容は。

A (町長) 11月に式典のみを考えている。経費はなるべく抑え、全戸に記念品を配布する。

活動の内容は

Q (宮原) デジタルデバイドの事業内

容と経費は。

A (まち観課長) 町と香川大学直島地域活性化プロジェクトとの共同で、高齢者向けのスマホ教室やデジタルSNSなどの活用講座の予算で、お茶代などを計上している。

パソコンの入門など、もっと広げては。

Q (宮原) パソコンの入門など、もっと広げては。

A (まち観課長) 今後、ニーズがあれば対応したい。

SDGs への方針は

Q (西岡) 2年前に、町がSDGsに取り組み予定はと質問したところ、検討するのとどだったが、現在の方針は。

A (町長) SDGsについては、範囲が広すぎる気がする。環境についても町のことについても、非常に大きな問題があると思う。今度、総合計画に盛り込んでいきたいと考えている。

当初予算

今後負担金は増えるか

主な質疑

均等割の増加理由は

Q (宮原) 法人町民税の均等割の増加理由は。

A (税務課長) 法人町民税の予想は難しいが、景気の上向きで均等割も増額計上した。

Q (宮原) 均等割なので、景気の要因は、あまり関係ないので。

A (町長) 景気が上向いた関係で、中間納付(申告)が増加した。

Q (宮原) 昨年、町内の大口の企業がなくなつた。それはあまり影響がなかったのか。

A (税務課長) あまり影響はなかった。

固定資産税の内訳は

Q (宮原) 固定資産税の土地・家屋・償却資産の内訳は。

A (税務課長) 土地が8180万円、家屋が、1億3568万円、償却資産が4億1752万円だ。

今後負担金は増えるか

Q (小野) 金融機関職員派遣負担金と救急患者搬送業務負担

金、今後増える可能性は。

A (町長) 前者は、百十四銀行の派遣負担金だが、これは増えるかどうかはわからない。

後者の負担金は、玉野市への救急患者搬送の負担金である。今すぐに上がることはないが、今後人件費が上がってくると、増加することがある。

備品購入は何か

Q (西岡) 非常備消防費の備品購入は何か。

A (総務課長) 消防分団と屏風島に1台ずつ購入する。



購入予定の可搬ポンプ

討論

〈一般会計〉

賛成 (西岡)

依存財源の伸びは期待できない。人口増加対策・移住定住促進・子育て支援・福祉の充実で、他にはない特色と魅力をめざし、限られた財源で当町に見合った財政運営を要望する。

〈診療所特別会計〉

賛成 (西岡)

厳しい財政状況のなか、医師2人体制を維持し、24時間365日、町民の安心安全の確保に努めている。今後も、一般会計からの繰入金を少しでも削減できるよう経営改善に尽力し、愛される診療所であることを要望する。



365日ありがとう (ふれあい診療所)

討論とは

議案は、町長の提出↓質疑↓討論↓採決で完結する。

討論は、賛成の討論と反対の討論がある。

賛成の討論は、その議員が、議案に賛成を表明するとともに、まだ賛否を決めていない議員に賛成の賛同をさせることにある。

一方、反対の討論は、反対の意見を表明するとともに、まだ賛否を決めていない議員に反対の賛同をさせるものである。

追跡

あれ、どんなじとん！

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

『当町は「豊島廃棄物等処理事業」の受け入れを契機に、エコアイランドなおしま推進事業として、環境と調和したまちづくりを進めてまいりました。今後は、これまでの取り組みにSDGsの視点を取り入れ、町全体が一丸となって取り組んでいける仕組みの再構築や脱炭素化につきます。町として可能な取り組みを検討してまいります』
(令和4年6月定例会「町長所信表明」)

「SDGs取り組みの具体案は」

町として可能な取り組みを検討していくとあるが、まだ具体的案はないのか。
(令和4年6月定例会 西岡議員質問)

答弁

SDGs、持続可能な開発目標という言葉だが、さまざまな分野で該当してくる。
今後どのようにしていくかを検証しながら考えていく。
(小林町長)

「現在の取り組みは」

令和4年6月定例会で質問して、約2年が経過している。何か方針があるのか。当町に見合ったものを模索しているか。
(令和6年3月定例会予算大綱 西岡議員質問)

答弁

確かに2年前所信表明で、仕組みを考えていこう、検討していこうと答えた。2年間何しよったんと言われても仕方ないが、SDGsは範囲が広すぎて、また、非常に大きな問題だ。
今後、総合計画に盛り込んでいきたい。
(小林町長)

香川県への 要望は



小林町長

宮浦港浮棧橋
の新設を要望

(主なもの)

- 12月3日 ベネッセアートサイト直島「町民感謝祭2023」に参加しました。
- 12月12日 年末年始の交通安全県民運動街頭キャンペーンに参加しました。
- 12月17日 直島コメづくりプロジェクト2023「おもちつき」に参加しました。
- 1月6日 二十歳のつどい式典に出席しました。
- 1月11日 四国汽船野崎社長が年頭あいさつのため来庁しました。
- 1月13日 消防団出初式に出席しました。
- 1月27日 高松北警察署犯罪防止・交通安全教室に出席しました。
- 1月30日 生活協同組合コープかがわ木村理事長と意見交換を行ないました。
- 2月1日～2日 香川県町村会の視察研修に参加し、兵庫県佐用町及び福崎町のまちづくり並びに神戸市人と防災未来センターを視察しました。
- 2月26日 福武財団笠原事務局長及び京都大学内田教授他と協議を行ないました。
- 2月29日 町と香川県との意見交換会を行ないました。

主な質疑

香川県への要望

Q (宮原) 具体的な要望内容と、その回答は。

A (町長) 主なものは、現在町で実施している18歳までの医療費助成制度の県費で、補助対象年齢を引き上げしてほしいと毎年要望しているが、県は、全国一律の制度となるよう知事会で国に要望しているとの回答だ。



現在の宮浦港浮棧橋

その他、横防地区急傾斜地崩壊対策工事の継続実施と、新規として積浦地区急傾斜地崩壊対策工事などの事業要望を行

レッドバードの再開は

Q (山下) 四国汽船レッドバードの再開の見込みは。

A (町長) 少しでも早く再開できるようお願いしているが、乗組員が確保できていないということで、現在見通しはたっていないが継続して要望していく。

生協への支援

Q (山下) 老朽化している生協本店の今後は。

A (町長) 町として生協がなくなれば町民への影響も大きいと思うので、建て替え等についても何らかの支援が必要になると考えている。

町村会の視察研修

Q (宮原) 研修先で特に印象に残った内容は。

A (町長) 兵庫県の佐用町及び福崎町を訪れ、両町とも人口減少率は高く、今後の人口減少を受け止め、その中で効果的なまちづくりを進めていくとのことだった。

幸福度調査

Q (中根) 福武財団と京都大学教授他による協議内容は。

A (町長) 直島の幸福度調査として現状と今後について調査研

究することのこと。具体的なことはこれからだと聞いている。

空飛ぶクルマ

Q (浜口) 香川県が次世代の物流や移動の手段として注目されている「空飛ぶクルマ」の事業化について計画しているが町への説明があったのか。

A (町長) 実現は遠い未来ではないと思うが、県から具体的な説明は受けていないので、これからの検討課題だと考えている。



事業化が検討される「空飛ぶクルマ」(提供元：株式会社AirX)



津山教育長

中学校に
バドミントン部
ができる

バドミントン部に 支援ボランティアの協力

(主なもの)

- 12月2日 小・中学校による「Meet the World」が小学校及び家プロジェクトなどで開催されました。
- 12月12日 スマイリーズのクリスマス会が開催され、幼児たちにプレゼントを配りました。
- 12月25日 香川の教育づくりがオンラインで開催され、中学校が「コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の育成」というテーマで発表しました。
- 1月18日 美咲町教育委員会が中学校に来られ、英語の授業参観をされました。
- 1月22日 第2回総合教育会議が開催されました。
- 1月29日 部活動の地域移行推進準備会が開催され、令和6年度に創設されるバドミントン部に支援ボランティアの協力を求めることを協議しました。
- 2月13日 目標申告・評価制度最終面談を実施しました。
- 2月14日 学校保健委員会が開催されました。

主な質疑

スマイリーズとキッズポート

Q (宮原)スマイリーズとキッズポート

共通点と異なる点は。

A (教育長) スマイリーズはまだ幼児

学園に入園していない子を持つ保護者が、子育ての悩みなどを分かち合える子育て支援の場であり、キッズポートは少し

年齢が上の幼児学園に入っている子どもを中心に親子の交流を図るところだ。



スマイリーズのクリスマス会

学校教育成果と課題は

Q (中根) 総合教育会議のなかで園長・

校長からはどのような成果と課題が報告されたか。

A (教育長) 幼児学

園からは、運動会や焼きいも大会、校外遠足等を実施し、保護者としつかり連携して教育活動ができた。

課題は、1歳児から5歳児の約80%がスマホやタブレットを使用している。

小・中学校も同様にスマホ等の使用時間が非常に長いという課題に繋がっていることが報告された。

小学校からは、能動的に取り組む子どもたちの活動を重視した学習指導に努めており、その成果が出ている。

中学校からは、生徒が主人公になる授業づくりを実施して英語や国語では特に良い結果が得られているという報告があった。

学年によっては学力にばらつきがあるのが課題だ。

小学生が対象か

Q (中根) Meet the worldの対象は小学生か。県内のALTが来てくれたのか。

A (教育長) 県内の

ALT17人が来た。1〜4年生は買い物ごっこを英語で行ない、その後グループに分かれて5年生と中学校1・3年生が

家プロジェクトに行った。6年生と中学校2年生はベネッセミュージアムに行くという形で実施し、ALTもこれに参加した。

保健委員会での話し合いの内容は

Q (西岡) 学校保健委員会です話し合われたメディア利用と睡眠の関連は。

A (教育長) 画面を

見ている時間が長くて睡眠時間が短いという傾向が幼・小・中とともに見られる。

起床時間の乱れや朝食を食べないことに繋がりがやすく、それが脳の発達

挨拶はコミュニケーション

Q (西岡) 朝「おはようございます」と向こうから言ってくる子どもはほとんどいない。指導はできないか。

A (教育長) 横断歩

道で待ってくれた車に、渡った後振り返ってお辞儀をする子どもたちを見て心が温かくなることがある。

子どもの方からの挨拶はいま一歩かもしれないので指導したい。



中学生がALTに英語で説明



小野 議員



中根 議員

令和5年4月施行の改正道路交通法で自転車利用者のヘルメット着用が、全年齢の努力義務となった。警察が7月に行なった着用率の調査では、全国平均で13.5%、香川では7.1%だった。全国では死亡事故も起きており、事故の際、命

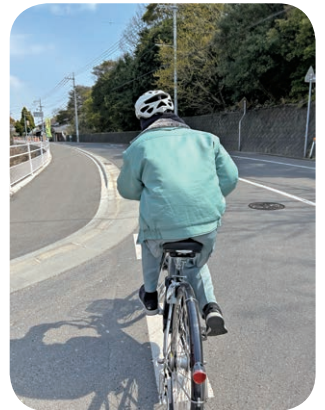
現在、直島町は交流人口が大幅に増加し、国際的にも注目を集めている。かたや国内ではデジタル化が広がりを見せ、どこでもキャッシュレスの時代となっている。
しかし当町は、いまだに陸上海上とも現金のみの運営だ。国内外から、いろいろなトラブルが発

ヘルメット購入に補助を

〔町長〕現時点では必要ない

を守る上で大きな効果がある。
町内では、着用率が上昇していると思われるが、未着用の方も見受けられる。自転車利用時の交通ルールや取り締まりは年々、強化されており、近い将来、罰則の対象になるのではと考える。着用率100%のために

〔町長〕町内で調査は行なっていないが、小・中学校は100%着用しており、企業でも出勤時の着用を周知徹底している。
県は来年度から自転車通学の高校生に対し、5000円を上限として、



命を守るヘルメット

購入補助を予定している。また、県下の市町でも、補助事業を実施しているところもある。
ヘルメットによってはネットで1000円程度で購入できるなど、費用

も、購入費補助制度をつくってはどうか。
〔町長〕町内で調査は行なっていないが、小・中学校は100%着用しており、企業でも出勤時の着用を周知徹底している。
県は来年度から自転車通学の高校生に対し、5000円を上限として、

購入補助を予定している。また、県下の市町でも、補助事業を実施しているところもある。
ヘルメットによってはネットで1000円程度で購入できるなど、費用

現在、着用の呼びかけは広報なおしまに5回掲載しており、啓発活動も実施しようと考えている。
〔小野〕2月7日、高松市で路線バスと70代の男性が乗った自転車と衝突

現在、着用の呼びかけは広報なおしまに5回掲載しており、啓発活動も実施しようと考えている。
〔小野〕2月7日、高松市で路線バスと70代の男性が乗った自転車と衝突

突、男性は意識不明の重体。12日には、高松市で普通車と自転車に乗っていた7歳の男性が衝突、頭を強く打って亡くなっている。この方はヘルメットを着用していなかったということだ。身近な所で事故が頻繁に起こっており、町内でも、事故が起こる可能性がゼロではない。制度をつくらないにしても、いろんな機会を通して、啓発活動を行なってもらいたい。

公共交通のキャッシュレス化を

〔町長〕今後、時期や方法を検討

生していると聞くと、今後

海上交通では○自動改札○自動券売機○窓口決済が考えられ利便性向上になるが、機器購入・設置工事費等多額の経費がかかる。また、乗船時の混雑も予想される。
陸上でも海上と同様、機器購入費や保守・手数料等経費が増加する。一方でメリットである効率化や人件費削減、売

後も交流人口増加が見込まれる今、手を打つべき時期にきていると考える。実現に向け、船会社にも進言いただきたい。
〔町長〕キャッシュレス化には、利便性向上や業務効率化等のメリットと、導入経費や決済手数料等のデメリットがある。

海上交通では○自動改札○自動券売機○窓口決済が考えられ利便性向上になるが、機器購入・設置工事費等多額の経費がかかる。また、乗船時の混雑も予想される。
陸上でも海上と同様、機器購入費や保守・手数料等経費が増加する。一方でメリットである効率化や人件費削減、売

上高増等は期待できない。今後、最適な時期や方法を検討し、皆さんの満足度向上につながる仕組みづくりに注力したい。
議員も住民の代表、船会社に働きかけてはどうか。
〔中根〕あるバス会社では、利用者がスマホをかざすだけで決済できる機器を設置し利便性向上やコスト削減が期待できるサービスの実証実験を始めている。
町長も、12月の広報に

「観光客の増加が顕著になってきており、世界から注目されていることを改めて感じている。交通対策など課題もあるが、少しずつだが解決に向け

て取り組んでいく」と書いている。これから先、キャッシュレス化はさけて通れない。今が最高のチャンス、実現に向けて一歩踏み出してほしい。



ICカードリーダー付き料金箱はいつ？



西岡 議員

文教地区の三差路は今年1月に信号機前のゼブラゾーンが大きくなり、ラバーポールの位置を2本移動する工事をしていく。走行に違和感があり、トラックドライバーは危険を感じるとの声だ。衝突や関連事故も想定でき、ラバーポールの位置を戻せないか。



山下 議員

いつの頃からか、高校入試は前泊するのが常となっている。

例えば、私立を2校受験し、本命の公立も自己推薦で不合格だった場合、一般で再度受験。このパターンだと4泊、しかも親子2人なのでツイルームで割高になる。

安全対策の改善を

〔町長〕左折車両の減速を促すためだ

A (町長) 警察に理由を確認したところ宮ノ浦から本村方面を直進道路とし、三菱マテリアル方面を左折道路と明確にすることで、左折車両の減速を促し、交通事故の未然防止に繋がる効果をもととしているとのことだった。

Q 実際、大型車輛は大きくセンター

A (町長) 私は、ラインを割っている。分はみ出さずに通行可能と認識している。

Q 1月1日に発生した能登半島地震の被害は甚大

災害時の避難所での対応は

1月1日に発生した能登半島地震の被害は甚大

なものであり、ライフラインが寸断され生活が一変している。避難者は避難所での慣れない集団生活にストレスを感じるとテレビ等で目にする。

当町においても南海トラフ地震による、避難所



はみ出して危険

A (町長) 避難所生活は快適なものではない。このため当町では避難所の物資として、パターションなどを備蓄している。

また、動物アレルギー體質の避難者もいる。現時点では屋外にベトスペースなど可能な対策は講じたい。

Q 屋外にテント等の設置は可能か。
A (町長) 今後の対策として検討する。

受験前宿泊費用に助成を

〔町長〕現時点では難しい

塾や受験料など、受験生を抱える家庭はものいりだ。前泊の宿泊費を何割か助成する制度をつくれなものか。

A (町長) 当町は離島であり、濃霧や強風等でフェリーや小型高速船の運航ができなくなる場合がある。

保護者、子どもたちにとって人生の節目となる高校入試。特に第一志望の高校は万が一に備え、前泊することは最善の策と思う。

中学校でも第一志望校入試の時は前泊をお願いしていると聞いている。今年香川県・岡山県公立私立高校とも、ほぼ

全員が前泊しているとのことだ。

宿泊となれば保護者の引率が必要で、宿泊費も当然必要となる。しかし、前泊が必要なのは高校入試に限らないと思う。例えば、出産予定日が近づいた妊婦さんは、船の運航が不安な場合は病院近くのホテルなどに宿泊していると聞いている。

町では子育て支援の一貫として、さまざまな金銭的援助や支援を実施し

期購入費の一部を補助し

ている。18歳までの医療費無償化。児童・生徒の、2人目以降の給食費やインフルエンザ予防接種料の無償化など。

中学生には演劇鑑賞会の経費や修学旅行・各種体験学習に参加時の交通費補助、部活動の活動費など、町独自の教育支援として6年度予算では中学生1人あたり2万5千円を援助する予定だ。

高校生になれば通学定期購入費の一部を補助し

ている。年間約15万円の定期代のうち、約9万円を補助するなど、保護者の経済的負担を軽減するための支援だ。

町の財政は税金を有効活用し、道路・港湾・福祉・教育・防災など、さまざまな事務事業に活用しているが、無限ではない。あくまでも税金を投入するものなので、現時点での宿泊費補助は大変難しい。



山上 議員

今後必ず起こると言われている南海トラフを震源とした大規模地震が発生した場合、直島町では最大クラスのもので震度5強から6弱と予想されており、発生のリスクは年々高まっている。

今回の能登半島地震ではライフラインへの被害が甚大であり、長引く断水により生活用水の確保ができません、またトイレが使用できない状態が長期化し、避難所並びに各家庭での生活にも深刻な影響を与えている。

本町においても、断水が長期化することも予想されることから震災後の上下水道対策を強化する必要があると考えるが。

A (町長) 上水道の基幹管路の耐震化率は76%であり、海底送水管は海底に埋設されていることから、地震で破損されることは低いが、今後も管路等の耐震化率

を図り送水が停止しないように努める。また、下水道は、トイレが長期間利用できないことを考え、災害時の緊急トイレなどの備蓄の増強を検討する。

南海トラフ地震への備えについて 〔町長〕さまざまな対策が必要である

Q 被害地では、災害時の緊急トイレなどの備蓄の増強を検討する。訓練は計画していないが、各自治会での防災訓練を全力でバックアップしたい。

A (町長) 総合防災訓練は計画していないが、各自治会での防災訓練を全力でバックアップしたい。

Q 津波警報の発令や港の被害などから多くの観光客への対応も必要となり、備蓄計画についても再検討する必要があると考えるが。

A (町長) 現在、3日間の避難所への避難者数を基に、4日目を降は国や他県からの救援物資が届く想定で備蓄しているが、当町の特性から来訪者の対応も必要となることから、今後関係機関との体制を構築していきたい。

Q 地域防災計画には「町は南海トラフ

を想定した防災訓練を少なくとも年1回以上実施するものとする」とあるので町が主体となった総合的な訓練を実施すべきだと考えるが。

A (町長) 総合防災訓練は計画していないが、各自治会での防災訓練を全力でバックアップしたい。

Q 宮ノ浦、本村は実施できているが他の自治会は難しいと思う。隔年でも町が主体となり実施すべきでは。



宮ノ浦地区防災訓練

監査報告

監査委員 大林 清
// 浜口 敏夫

なお一層の効率的な行財政運営を

本年度の財政事情は、企業収益の持ち直しなどにより、地方税収入等が一定程度回復することが見込まれるものの、社会保障関係費の自然増、公債費が高い水準で推移することや、診療所会計、下水道会計への繰出金が多額であるため、楽観視できない財政状況となっている。

事務事業や経費の節減・合理化、公共事業の長期的な計画の再検討など、なお一層の計画性と費用対効果を重視した事業を実施するよう望む。

指摘要望事項

《一般会計》
歳入では、町民税・固定資産税等町税全体の収入は微減となっている。歳出では、宮ノ浦地区地震津波対策、横防家族用住宅整備などが実施されている。激変する政局や経済情勢に留意し、特に効果のある事業を最優先に進めるほか、税の滞納整理に対する取り組みを一層強化するよう望む。

《特別会計》
《国民健康保険事業》
医療費適正化対策については、特定検診・特定保健事業の充実をはじめとする医療費の抑制策の強化に努め、国保税の滞納整理の取り組みも強化し健全な財政運営に向けてなお一層の努力を望む。

《診療所事業》
毎年、一般会計からの多額の繰入金で運営しているが、この繰り入れをいかに少なくしていくのが最大の課題であり、継続的な健全運営が行なえるよう創意工夫を凝らした経営に取り組むよう望む。

《宅地造成事業》
この事業がさらなる恒久的な人口減少の抑制と移住・定住の促進に寄与することができるよう、分譲の完売をめざし、適正かつ円滑な事業の推進に努めるよう望む。

人 事

教育長の再任に同意

任期満了に伴う教育長として、津山勝義氏の再任に同意しました。任期は、令和6年4月1日から3年間



津山 勝義 氏

教育委員会委員の再任に同意

任期満了に伴う教育委員会委員として、中川智司氏の再任に同意しました。任期は、令和6年4月1日から4年間

専決処分

歳入に物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金と前年度繰越金を、歳出に住民税非課税世帯・住民税均等割課税世帯・低所得者子育て世帯・子育て世帯に対する給付金を追加する専決処分を全員賛成で承認しました。

◎歳入

●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1595万円追加

●前年度繰越金

285万円追加
●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 2444万円追加

●前年度繰越金

469万円追加

◎歳出

●住民税非課税世帯生活応援給付金 1820万円追加

●住民税均等割課税世帯生活応援給付金 1400万円追加

●低所得者子育て世帯生活

活用 活用給付金

50万円追加
●子育て世帯応援給付金 1440万円追加



子育て世帯を応援

令和5年度 予算補正

一般会計

●歳入・歳出予算の総額にそれぞれ1億9997万円を追加しました。

◎歳入の主なもの

- 固定資産税 5712万円追加
- 地方交付税 1億5448万円追加
- 繰越金 1億1070万円追加
- 雑入 1168万円追加

- 繰入金 9474万円減額
- ◎歳出の主なもの
- まちづくり基金積立金 7013万円追加
- 財調基金積立金 3億1940万円追加
- 生活環境施設整備基金 1507万円追加
- 観光交流施設等整備運営基金 209万円追加
- 宅地造成会計繰出金 3201万円減額

条例改正 介護医療を充実

介護保険条例の一部を改正する条例

令和6年度から始まる第9期介護保険事業計画に基づき、第1号被保険者の介護保険料率を改定することから、本条例の一部改正を提案するもの。

町立診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正により令和5年度末で介護療養型医療施設の廃止に伴い、継続して各種介護サービスを提供するため、介護医療院への転換を行うことに加えて、徴収す

る使用料等を法に基づいて算定した額に見直し、持続的な運営管理を図るため、本条例の一部改正を提案するもの。



介護医療充実へ

委員会レポート

姫宮団地 第2期分譲開始

山上 委員長

バスのサイネージ 英語以外の対応は

中根 委員長

〔総務課〕

○町表彰

金光久美子氏 商工会女性部全国大会で主張発表し優秀賞を受賞された。

○感謝状

小山公望氏 長きにわたる選挙管理委員を務められた。

大山一郎氏 長きにわたる農業委員を務められた。

西岡幸子氏 長きにわたる農業委員を務められた。

人事

○一般行政職 2人採用

〔診療所〕

令和5年度診療状況

(令和6年1月末)

入院患者数 331人

(前年度410人)

外来患者数

10507人

(前年度10273人)

時間外救急患者数

233人

(前年度244人)

医師の働き方改革

来年度は、綾川町陶病院の医師に月1度土日待

○保健師

1人採用

〔まちづくり観光課〕

1月13日～14日

J O I N 移住・交流&地域おこしフェア2024

ふるさと納税

1月末現在 801件

4875万円

〔デジタル推進室〕

1月21日

プログラミング&e i s P o r t s 体験教室

〔中根〕町営バスのサイネージは英語以外の言語にも対応し

機業務をお願いする。

〔住民福祉課〕

人権・同和問題職員等研修会

12月7日

講演テーマ

部落差別解消法、香川の同和問題等について

講師 香川県人権研究所

竹上 精一 氏

小規模多機能居宅介護施設

直島げんき

〔Q〕現在休業しているが、今後の利用

予定は。



町営バスのサイネージ

〔教育委員会〕

○教育委員会

表彰

杉那々子さん 火災予防ポスターで県知事賞受賞

福島花菜さん

セーリング世界選手権

大会出場

津郷翔南太さん セーリング世界選手権大会出場

〔西岡〕いじめ問題調査委員会だが、子どもたちに聞き取りはしたのか。

〔A〕

審議内容

令和5年度事業報告

令和6年度事業計画案

〔建設経済課〕

姫宮団地2期工事

〔Q〕分譲状況は。

1月22日から分譲を開始して

り、現時点で8区画のうち4区画の申し込みを受けている。

また、1期工事の1区画が返還となり、今後登記手続きを済ませ再度分

〔A〕

12月22日

エコアイランドなおしま推進委員会

帯状疱疹ワクチン接種

接種率

(対象者50歳以上)

令和5年度 14・0%

令和6年度 4・5%

〔環境水道課〕

エコアイランドなおしま推進委員会

12月22日

〔A〕 (教育長) 子どもたちへの聞き取りは、教員と済ませており、それで十分であるとして、子どもたちには聞き取りしない。

〔Q〕 (中根) 部活動の地域移行だが、環境が整っていないので、7年以降になるのか。

〔A〕 (教育長) バドミントン部は今年春からできる。7年以降になるのは、協議会の立ち上げで、部活動の地域移行はまだその先になる。譲する。

〔Q〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕

〔A〕



分譲中の第2期姫宮団地

体験住宅の必要性 強く実感

〈中根 記〉



信谷議長ごあいさつ

信谷議長ごあいさつ
 中高一貫の叡智学園では授業はすべて英語で行なっている。国立の商船高等専門学校では600人の学生が学び、就職率は100%だそう。定住支援策として、農地の賃借や売買の斡旋、新規就農者育成交付金事業、新規就農支援事業など、農業を希望した移住者にいろいろな支援事業があり、充実していると

1月22日、宇野港よりチャーターバスにて大崎上島町へ。信谷議長のあいさつで始まった。大崎上島は瀬戸内海のほぼ中央に位置し、広島県唯一の離島の町だ。柑橘類が主要作物で、造船業、非鉄金属業なども古くから基幹産業として発展してきた。本土からフェリーで約30分、便数も多く比較的便利な町だ。教育の島と言われるそうで、幼小中学校をはじめ、県立高校・県立中高一貫校・国立高



移住体験住宅を視察

専があり、全国から約700人の寮生が生活している。

太田町に。太田町は広島県の北西部の山間地で、町面積の90%が森林だ。

感じた。説明の後質疑応答があり、活発な意見交換が行なわれた。その後、移住体験住宅を現地視察し多くの意見が出た。

翌23日は安芸大崎市内まで車で30分、日本海まで約1時間の立地だ。子育てしやすい環境も移住者が増えていく理由で、自然豊かで、子どもたちの好奇心や探究心などいろいろな感性が育まれ、子育て世帯の保育費や医療費の軽減、子育て世帯の住宅購入補助、移住者の暮らしを応援する各種支援制度が充実している。

広島県 大崎上島町 安芸太田町

視察研修報告

太田川の源流があり、西中国山地国定公園になっている。

まず、空き家バンク制度の活用と課題、民間賃貸住宅の需要と供給のバランスの現状、移住者が入居する町営住宅の現状と課題についていろいろ説明いただいた。

見交換ができた。

中根委員長からお礼のごあいさつ

中根委員長からお礼のごあいさつ
 その後、当町の現状等交え、多くの質問や意見があった。直島町も、移住希望者にわかりやすいPR、わかりやすい体験住宅施設が必要だ。子育て世帯の各種支援制度の充実など、まだまだたくさん課題がいろいろあるなあと強く感じた視察研修だった。



活発な質疑応答



寺川豊さん、茜さん



直島学習塾で勉強中 めざせ東大!!

今回登場いただくのは本村にお住まいの寺川豊さん、茜さんのお2人です。本日はよろしくお願ひします。

開いています。以前は、塾や中学校・専門学校などで勉強を教えていました。

が良くなりました。近所付き合い自体なかったのですが、直島に来てからはどの方も親切で穏やかでとても過ごしやすいです。アルバイトで島の人たちと関わるときも、人間関係にストレスが少なくて仕事も楽しいです。

悪いところがあれば教えて下さい。

島の人たちが温かいこと

Q まず初めに、いつ頃から来られましたか。

A (豊) 妻が直島への移住を希望しており、決めました。

Q 移住地を直島に決めた決定的な理由は。

A (豊) 私は多摩美を卒業

Q 将来、直島がこうな

Q 塾でクリスマス会

少年よ 大志を抱いて

し、アートの島の直島が気になっていました。仕事がりモートになったのを機に移住を決めました。

Q 島の人たちはどうですか。

A (豊) 塾を立ち上げる

Q 塾をされていますか。

A (豊) 「東大に行きたいとかがありますか。」

Q 島の人たちはどうですか。

A (豊) 塾を立ち上げる

Q 塾をされていますか。

A (豊) 「東大に行きたいとかがありますか。」

Q 塾をされていますか。

Q 島の人たちはどうですか。

A (豊) 塾を立ち上げる

Q 塾をされていますか。

A (豊) 「東大に行きたいとかがありますか。」

Q 塾をされていますか。

Q 島の人たちはどうですか。

A (豊) 塾を立ち上げる

Q 塾をされていますか。

A (豊) 「東大に行きたいとかがありますか。」

Q 塾をされていますか。

リモートで仕事中の茜さん

編集後記

新年早々、能登半島地震が発生し、甚大な被害がありました。被災地の皆さまにお見舞い申し上げます。

当町においても、近い将来発生すると言われている南海トラフ地震が実際に発生し、被害がでた時は、消防団の活躍が期待されると思います。しかし、消防団員の定数185人に対して、現在は100人強です。この状況では、十分な活動は難しいと思われる。直島のために若い人に消防団に入団していただき、住民のために活動していただければ幸いです。

(西岡 記)

広報編集特別委員会

委員長 井下 良雄

副委員長 小野 孝一

委員 山下 玲子

山上 英一

西岡裕喜広

中根 清孝

宮原 三郎

濱口 敏夫